



ぞうえん山梨



↑長い時を経て、大きく育った甲府駅南口平和通りの櫟並木風景。

←植樹されたばかりの甲府駅北口市道の櫟並木風景。

街の財産である「街路樹」は、都市空間に自然の潤いを与え、良好な景観を形成しています。また、二酸化炭素の削減効果（詳細は4ページ）、都市の冷却化、延焼防止の効果など環境保全に大きな役割を果たしています。

- ごあいさつ2頁
- 協会の動き3頁
- 緑化樹木の役割と効果4頁
- 公園リニューアル事業5頁
- 組合の動き／協会員・組合員めぐり6頁

- 青年部の活動7頁
- 平成24年度組合自主事業8頁
- 山梨緑化センター9頁
- 表彰等10頁
- 会員名簿12頁

(社) 山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業協同組合

平素は、当協会の発展のために格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。最近、西暦の末尾の数字が当年の歴史を刻んでいる感がしてなりません。

2011年の末尾11は、3月11日の未曾有の東日本大震災でありました。また、2012年の末尾12は、12月の衆議院選挙において12の政党がしのぎを削りました。その中で多くの党が重要視した政策の一つは景気・雇用対策であり、その結果は最重視した自由民主党が圧勝しました。また、県内においては12月2日に中央道笹子トンネルの天井板崩落事故が起こり、このことによってインフラの老朽化対策を喫緊に推進する様、社会に警鐘を鳴らしました。

さて2013年には、この2年間に起こった歴史を教訓に、私達が携わっている造園業が地域社会の維持管理に不可欠な地域密着型産業として、なくてはならない建設業であることを次の3つの方策を掲げ、社会に訴えて参ります。

先ず、山梨県と締結している防災協定が円滑に履行できる様、災害時の避難地となる公園での生活環境の維持、管理等を始めとした支援活動の責務を果たすために、公園機能を熟知している私達造園業者に県営都市公園で行われている防災公園としての機能充実に関わる事業に出来るだけ参画の機会が得られるよう要望して参ります。

次に、本県の景気・雇用の改善を図るためには観光立県と第6次産業化を推進して行くことが重要であると考えています。そのためには、インフ

当協同組合の運営、諸活動につきましては、組合員の皆様はもとより、関係機関、関係諸団体の皆様方の多大なご支援ご協力を頂き、厚く感謝申し上げます。

さて、山梨県造園建設業協同組合は昭和61年7月に誕生し、今年満27年になります。発足した頃から始まったいわゆるバブル景気に組合も好影響も受けましたが、その崩壊と共に今に至るまで、「景気の冷え込み、事業量の減少」という言葉をあいさつ文の中に必ずといっていいほど入れてきたように思います。ユーロ圏の一部のみならず世界的にも経済に元気が感じられない状況です。

私たちの生活にゆとりが持てない中、「心にゆとりを」となかなか言えませんが、植物や花など緑系を身近に置くことで心に癒しを与えてくれるのではないのでしょうか。県は40年ほど前に生活環境に緑地を確保していこうと条例を作っています。そして推進の拠点となるように緑化センター見本園を設けています。

最近ではホームセンターで庭木や果樹、季節の花を購入しガーデニングを楽しむ方が多くなってい

ラ整備を着実に進めると同時に景観形成も進めることによって人々が動き、消費の拡大が計られ景気浮揚につながります。私達は「生き物を扱う唯一の建設業」に携わる者として「美しい県土づくり」のお手伝いは、山梨の発展の芽を大きく育てる一助となると確信した活動を行っていく所存です。

次に、超高齢化社会を迎えるに当たり、高齢者医療費、介護費用が財政に深刻な影響を与える事が懸念されております。このため、少しの予算で大きな成果を得る方策の一つとして、生活の中のリズムとして身近なところで運動できる環境を整えることによって、健康維持と増進を計られる健康公園(仮称)整備や既存公園リニューアルの提案が財政政策の一つであることの理解を得るよう努めて参ります。

最後になりましたが、当協会は4月1日からは公益法人改革に伴い、「一般社団法人」として新たに生まれ変わりますが、引き続き社会貢献事業として「ぞうえん山梨 きづかひの森」森林整備事業、小学校校庭の芝生化への協力などを鋭意推進して参る所存であります。

こうした諸活動が円滑に推進できますよう協会員及び関係者の皆様の一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。



ます。私たち造園組合は、山梨県緑化センターの指定管理者として県民の皆様の身近な「みどりづくり」のお手伝いをしています。プロのちょっとしたアドバイスで一層庭づくりが楽しめるものと自負しています。

緑化センターの指定管理者として、平成25年度は第二期5年間の最終年度になりますが、これまで以上により多くの県民の皆様にご来場いただけるようソフト部門の充実、センターに相応しい施設・植栽管理など、県のご指導を賜りながら本県のみどりづくりに貢献すべく努めて参ります。又、引き続き緑化センターや類似施設の指定管理者採用にむけ努力してまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝ご発展を祈念するとともに、今後とも組合や緑化センターの運営に多大なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。



●一般社団法人移行に向けて

平成20年12月1日に公益法人改革関連3法が施行され、平成25年11月30日を期限として新法人への移行等の対応が迫られた。

このため、翌年1月から理事会等において検討を開始し、その後勉強会、研修会等を通じて検討を重ね、平成23年2月22日に「法人改革検討特別委員会」（翌年度事業委員会に移行）を設置して検討作業を進め、4月15日開催の通常総会（予算総会）において「一般

社団法人への移行方針」が承認された。

一方で、山梨県私学文書課と新定款（案）及び申請書の内容について協議を重ね、平成24年5月25日開催の第36回通常総会（決算総会）において移行後の新定款（案）の決議を得た。引き続き、11月1日に山梨県に一般社団法人への移行認可申請を行なった。

今後は、平成25年3月下旬に認可を受け、4月1日に一般社団法人としての設立登記を予定している。

■一般社団法人移行の経緯

- ・平成20年12月1日 公益法人改革関連3法施行
- ・平成21年1月～ 理事会及び事務局において検討を開始
- ・平成23年2月22日 法人改革検討特別委員会を設置（5月13日事業委員会に移行）
- ・平成23年4月15日 通常総会（予算総会）で「一般社団法人への移行方針」を承認
- ・平成24年5月25日 第36回通常総会（決算総会）で移行後の新定款について決議
- ・平成24年11月1日 山梨県知事に一般社団法人への移行認可申請
- ・平成24年11月21日 第36回公益認定等審議会にて審議
- ・平成24年12月21日 公益認定等審議会にて審議・答申
- ・平成25年3月下旬 山梨県知事から一般社団法人への移行認可予定
- ・平成25年4月1日 一般社団法人に移行予定
- ・平成25年5月下旬 移行後の定時社員総会予定

●移行認可申請書の内容について

■公益目的支出計画の概要

- ・公益目的財産額 約5,000万円
- ・公益目的支出の見込額（平均の額）約450万円
- ・実施事業収入の見込額（平均の額）0円
- ・公益目的財産額が零となる予定の事業年度の末日 平成36年3月31日
- ・公益目的支出計画の実施期間 12年間

■実施事業の内容

●継続事業（継1）：

地球環境保全事業及び行政、公益活動を担う団体等の行う環境緑化事業等への支援事業（支出見込額：約250万円）

事業概要 森林整備事業（「きづかいの森」）／環境緑化・美化等支援事業（河川・道路及び公園など公共施設の社会奉仕活動）／「全国造園フェスティバル」及び「やまなしクリーンキャンペーン」支援事業／「全国都市緑化フェア」誘致支援事業／園庭・校庭等芝生化事業／広報活動事業

●継続事業（継2）：

造園技術に関する調査研究及び情報等の収集頒布、技術者研修等を行い環境緑化の普及啓発に努める事業（支出見込額：約200万円）

事業概要 公園リニューアル事業／壁面緑化普及啓発事業／研修会及び講習会



1



2



3



4



5



6



7

①森林整備事業「きづかいの森」

②環境緑化・美化等支援事業

③全国造園フェスティバル

④全国都市緑化フェア

⑤園庭・校庭等芝生化事業

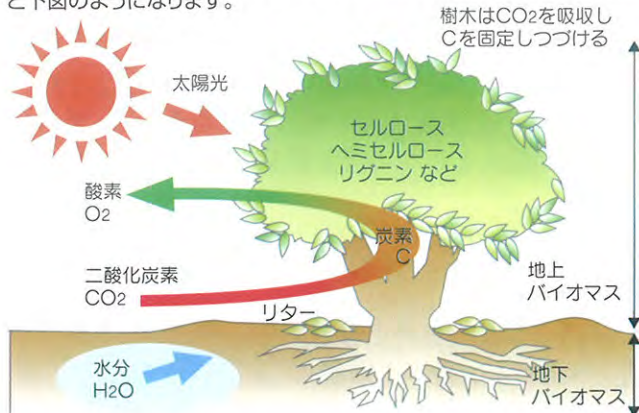
⑥壁面緑化普及啓発事業

⑦研修会・講習会

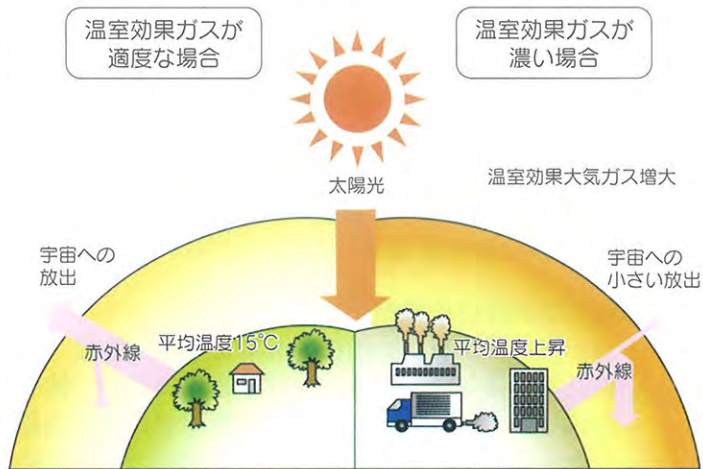
緑化樹木の役割と効果

樹木が持つ二酸化炭素(CO₂)吸収と炭素(C)固定能力

樹木が温室効果ガスの吸収源として地球温暖化対策に貢献していることは広く知られていますが、実際に緑化樹木がどのようにCO₂を吸収し、Cを固定して温室効果ガスを削減しているのか、システムを簡単に表すと下図のようになります。



求められる地球温暖化対策と緑化樹木の役割



※(勸都市緑化技術開発機構「都市緑化技術」2008No.69 P12を基に作成)

樹木がどれくらいCO₂吸収・C固定をしているのか計算してみましょう!

樹高	m	1.8	2.7	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0
胸高直径	cm	0.60	1.8	4.0	9.0	10.0	14.0	19.0	25.0	31.0	38.0
炭素C固定量	kg-C/ 本・年	0.03	0.32	1.13	2.01	3.42	4.90	6.97	9.64	12.41	15.82
二酸化炭素CO ₂ 吸収量	kg-C/ 本・年	0.12	1.19	4.13	7.37	12.54	17.98	25.54	35.35	45.50	58.02

※(社)道路緑化保全協会(2002)緑の情報シートを基に作成

●20mの生け垣が高さ1.8mの樹木20本で作られている場合



年間のCO₂吸収・固定量は $0.12\text{kg} \times 20\text{本} = 2.4\text{kg-CO}_2/\text{年}$

- ・体積にすると1,320ℓ
- ・500mlのペットボトルで2,640本分に相当します。
- ・ドラム缶で約6.5杯分

●100mの道路に10mの高さの街路樹が8m間隔で13本植栽されている場合



年間のCO₂吸収・固定量は $45.50\text{kg} \times 26\text{本} = 1,183\text{kg-CO}_2/\text{年}$

- ・体積にすると650,650ℓ
- ・500mlのペットボトルで約130万本分に相当します。
- ・25mプールで約1.5杯分

●平和通りのケヤキ(樹高=13~20m/99本)の場合



年間のCO₂吸収・固定量は $131\text{kg} \times 99\text{本} = 12,969\text{kg-CO}_2/\text{年}$

- ・体積にすると7,132,950ℓ
- ・500mlのペットボトルで約14,265万本分に相当します。
- ・25mプールで約16杯分

※20°C、1気圧での1kgのCO₂体積をおよそ550ℓとして計算

出典: (社)日本造園建設業協会「日造協が考える緑化樹木のCO₂吸収のめやす」

■みんなに愛される公園になるために

当協会では公園が地域の憩いの場として、子供からお年寄りまで多くの人に愛され、また高齢者が身近な所で運動ができて健康維持と増進に繋がる場所となることを目指しています。

また、県内の特に小規模公園は老朽化が進み、人と人が集う安らぎの場となっていない公園がたくさんあります。そうした公園を緑豊かな癒しの空間にリニューアルし、たくさんの人々が集まる公園づくりのお手伝いをいたします。

■安心・安全な公園

- 子供たちが安心して遊べる公園
- 死角や暗がりのない公園



■人にやさしい公園

- ユニバーサルデザインへの対応
- 身障者、高齢者も利用しやすい公園



■きれいで使いやすい公園

- きれいで使いやすい便所
- 充実したベンチや休憩施設
- 高齢者の健康維持増進に繋がる使いやすい公園



■災害時に利用できる公園

- 災害時の避難場所となる公園
- 防災機能を持った施設のある公園



■住民が参加できる公園、地域の個性を生かした公園

- みんなが協力して草花を育てる花壇、地域の行事に利用できる公園
- 地域の個性や風土性が反映された施設デザイン



■身近に自然を感じられる公園

- 豊かな緑に包まれた公園
- 鳥や虫などの生き物が生息する公園



■公園リニューアル講習会の開催

- 実施日 平成 24 年 3 月 9 日 午前 10 時～午後 4 時 事例の説明を聞く協会員と青年部員→
- 場所 山梨県造園建設業会館 2 階、池田公園
- 講師 鳥越昭彦(財団法人 都市緑化機構)・大恵朋彦(株式会社 富士植木)
若狭敏幸(阪神園芸 株式会社)・剣田和良(株式会社 グラック)
間庭直行(株式会社 昭和造園)
- 参加者 講師 5 名、協会員 14 名、青年部員 16 名
- 活動内容
・公園リニューアルに取り組む上での考え方、事例の解説
・チェックシートの使用例解説
・現地で実際にチェックシートを利用した調査
・調査データの解析方法、その読み取り方



↓現地でのチェックシート活用の説明



お知らせ

「街路樹剪定士研修会・認定試験」等の開催について

本県の「街路樹剪定士の資格」取得者は 165 名(H24.4 現在)に達しており、県内の街路樹整備等の分野において、樹木の生理・生態や街路樹に関する専門知識と伝統的な職人芸とも言える技能を併せ持ったスペシャリストとして大いに活躍している。

この資格は、近年、発注側にあっても重視する傾向が強まってきており、国、各都道府県及び市町村において街路樹剪定士の常駐や指導さらに見本剪定実施等の特記仕様書に明記する、また入札等の参加資格や評価項目とするところが増加している。

(一社)日本造園建設業協会山梨県支部では当協会の協力のもと、次のとおり開催を予定している。

- 「街路樹剪定士資格更新研修会」
平成 25 年 1 月 25 日(金)開催予定

- 対象者：平成 20 年度の認定者（カード式認定証に有効期限が 2013 年 3 月 31 日と記載されている方）、有効期限後 5 年以内の方で、まだ更新手続きをされていない方。
なお、有効期限後 5 年以内に更新手続きを行わない場合は、資格は失効する。

■「街路樹剪定士研修会・認定試験」

平成 25 年 2 月下旬開催予定

- 受験資格：造園技能士 2 級以上（2 級の場合は取得後 2 年以上の実務経験）
樹木の植栽工事又は剪定業務に直接従事した実務経験の合計が 7 年以上

なお、詳細について知りたい方は、(一社)日本造園建設業協会のホームページをご覧ください。

組合の動き

●平成24年度 第26回 通常総会開催

平成24年5月25日(金) 午後3時10分から当山梨県造園建設業会館において開催された。

司会者堤明伸理事が開会を宣し、小林稔蔵理事長の挨拶に続き、顧問の県議会議長浅川力三様から挨拶と激励の言葉をいただき、同じく顧問の県議会議員高野剛様の紹介をおこなった。続いて来賓の山梨県みどり自然課石原三義課長様及び山梨県中小企業団体中央会依田正司常務理事様からそれぞれご祝辞をいただき、若尾会計事務所若尾和成所長様の紹介を行った後、議長に帯金岩夫副理事長が選任され審議に入った。

第1号議案 平成23年度事業報告・収支決算承認の件
事務局の説明の後、志村好啓監事が監査報告を行い、これを議場に諮ったところ異議無く満場一致で可決承認された。

第2号議案 平成24年度事業計画・収支予算決定の件
事務局説明の後、これを議場に諮ったところ同様に可決決定された。

第3号議案 総会議決事項委任の件
事務局説明の後、これを議場に諮ったところ同様に可決決定された。

以上で議事が終了し、午後4時10分閉会した。

協会員・組合員めぐり

有限会社 吉井造園

代表取締役 吉井 公人

所在地 甲斐市西八幡4044-6

当社は昭和53年に庭吉として開業し、平成2年法人化を図り、有限会社吉井造園として現在に至る。

建築、土木と違い不定形な形状の天然素材により創り出され、造園独自の空間領域を確立している職種ゆえ、人々に喜び、楽しみ、そして知的な刺激を与え、命の活力を与える場所と考えている。

昭和、平成と情報化とスピード化が進む中で日本古来の貴族文化が花開いた平安時代の庭園、武家文化の禅宗寺院の庭、江戸時代の大名庭園と昔の時代の庭を継承しつつ、進化する環境に対応すべききもの新しきものの融合を図り、ユーザーのニーズに応えるべき技術と感性を磨き上げ、来るべき将来の姿を予見しつつ社員一同努力している。

「しかしながら、綺麗な事を並べても生活の糧となるべき事であり、一層の努力と団結力が必要かと…」



有限会社 山宮造園

代表取締役 山宮 一哲

所在地 甲府市大里町3608

父の代から植木屋として始めて、平成3年の6月に法人化して有限会社山宮造園として現在に至っております。

父の代からのこだわりは、『人にやすらぎと、癒しを与えられる空間!』を目指して個人庭園を中心に事業を行ってまいりました。その教えは現在も会社の方針として個人庭園だけでなく、公共の場においても提供出来る様に資格も取り努力しております。

めまぐるしく早い時の流れの中において、お客様のニーズに合った庭作りをめざし、心地よいスペースの提供をお客様と一緒に作り上げて、提案出来る街の造園屋として根ざせる様に社員共々一丸となって、これからも努力していく所存です。



お知らせ

代表者の変更

河野造園土木(株) 代表取締役 河野 嘉 孝
就 任 平成24年6月1日

代表者の変更

富士急建設(株) 代表取締役 梶 原 実
就 任 平成24年6月26日

青年部の活動

路線名
国道 358 号

交差点名
列記



「マップ説明」

路線名をクリックすると上図のように該当路線が赤くなり、左側に交差点名が列記されます。その交差点名をクリックすると、その場所の植栽帯の位置図・街路樹情報を知ることができます。

街路樹マップ

現在、県道沿いにはさまざまな樹木が植えられています。それが街の景観をつくり地球温暖化防止になり、事故防止にも繋がっています。そうした街路樹の管理に係わっているものとしてどこに、何が、どのくらい植えられているのかを把握し、台風・事故等の災害が発生した時に、瞬時にその災害状況がわかるような街路樹マップを作成し、これからの街路樹の景観づくりと維持に役立てていきたいと思っています。

今年度は、街路樹情報を最新版に書き換えたと共に位置図の中にスーパー・コンビニ等主要なお店を入れることによって、より迅速に損傷箇所がわかるように改良してあります。今後も毎年改良を重ねていき、よりたくさんの方々を活用して頂けるよう工夫していきたいと思っています。

やまなしクリーンキャンペーンへの参加 継続事業(継1)

実施日時 平成 24 年 9 月 27 日 午前 8:00 ~ 10:00
 場 所 甲府駅南口
 参 加 者 山梨県森林環境部環境創造課、
 環境保全担当 1 名
 山梨県造園建設業協会・協同組合
 青年部 18 名

活動内容 やまなしクリーンキャンペーンに協力し、甲府駅南口にてクリーンキャンペーンのチラシと、花の種（ポピー・矢車草・帝王貝細工 3,000 袋を駅利用者に配布しました。

また配付後駅前ロータリー周辺のゴミ拾い清掃活動を行い、環境美化に努めました。



技術講習会(小端積)

日 時 平成 24 年 11 月 8 日 午前 8 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分
 参加者 協会員 21 名
 研修先 山梨県緑化センター
 講 師 小林 洋(現代の名工)、名取 満(山梨の名工)、吉井 公人
 内 容 鉄平石を使い小端積による土留め壁を築造し、会員の更なる石積技術の向上を目的として開催しました。



大型公共公園工事が激減している中、若手の造園家達がこのような石積を経験する機会が少なくなり、伝統的技法を伝えていくことが困難になってきています。

今回の技術講習を通じて、これからの山梨の造園を背負っていく若者達に少しでも役立ててもらえるとありがたいと思っています。

平成24年度組合自主事業

山梨県造園建設業協同組合は山梨県緑化センターの指定管理者として、今日まで様々な自主事業を実施し、来園者数の増加を図ってまいりました。今後も尚一層創意工夫を重ね、県民の皆さんの期待に応えられるよう努めてまいります。

多くの県民の皆様方の暖かいご支援をお願いすると共に関係各位のご協力をいただき、管理運営の質を高め、当センターがより身近に感じていただける施設になるよう職員一同尽力してまいります。

●●山梨グリーンフェア●●



4月21日から2日間、山梨グリーンフェアを開催しました。植木市には組合加盟32社が参加。樹木・草花・鉢物・園芸資材・野菜苗等の販売を行いました。

また同時開催として「お茶会」も開催され、表千家古屋園恵先生（甲斐市文化協会）が亭主を務め、山梨県造園建設業協会事務局中村麗子さんが代表を務める中村麗声社中の奏でる琴の音色の中で子どもからお年寄りまでお茶を楽しみました。2日間で約6,000人の来場者を集め賑わいました。

●●各種展示会●●

4月21日から2日間、山梨エビネ蘭研究会出展による「エビネ蘭展」、6月15日から3日間、山梨県羽蝶蘭保存会出展による「羽蝶蘭展」、9月15日から2日間、山梨県春蘭愛好会出展による「葉を観る春蘭展」、10月27日から2日間、山梨遊心会出展による「秋を彩る盆栽展」を開催しました。各展示会とも、出展者の丹精込めて育てた作品に、訪れた人は見入っていました。

平成25年1月下旬には「洋蘭展」、3月中旬には「花を観る春蘭展」の開催を予定しています。



●●緑の感謝祭●●



10月27日から2日間、緑の感謝祭を開催しました。組合員により樹木、花、園芸資材、農産物等の販売を行いました。その他「高所作業車乗車体験」・「ツリークライミング体験」・「もちつき大会」等も開催され、ショータイムでは、三宅太鼓演奏・フラダンス・バンド演奏・オカリナ演奏が行われ会場を盛り上げました。

同時開催として日本造園建設業協会山梨県支部による「全国造園フェスティバル2012」も行われ、来園者に花の種が配られました。県内各地から約5,000人の方が来園しました。

●●寄せ植えコンテスト●●

「秋を感じる寄せ植え」をテーマに第3回寄せ植えコンテストの作品を募ったところ、学生部門35点、一般部門33点合わせて68点の応募がありました。季節感・デザイン性・鉢と花のバランス等の観点から審査を行ない、知事賞以下18点の入賞作品が選ばれ、10月28日緑の感謝祭の会場で表彰式を行いました。

応募点数も年々増えており、今後も手軽に誰でも参加できるコンテストとして定着を図っていきたいと考えています。

(写真左から学生部門知事賞、一般部門知事賞作品)



●●みどりの写真コンテスト●●



「第7回みどりの写真コンテスト」を開催するにあたり、6月から「樹木」「私の好きな庭」「風景」の3部門で作品を募集しましたところ、銘木、奇木、花、印象に残る庭、山梨の豊かな自然を繊細な感性で捉えた優秀な作品等、151点の応募がありました。

山梨日日新聞編集局の鶴田圭吾先生を審査委員長として審査を行い、各部門の知事賞、優秀賞が決定され11月16日から18日まで展示会を開催しました。

知事賞受賞作品は緑化センターに通年展示されています。

●●その他研修会●●

J A中巨摩東部、シルバー人材センター等5団体から依頼を受け「ガーデニング技能研修会」等の研修会を開催しました。

平成24年度山梨県緑化センター主催事業

山梨県緑化センターは、緑の発信基地として緑の教室・緑化相談・緑サポーター養成研修等県民の皆さんの緑に親しみ育てる意識の動向を読み取りながら様々な事業を実施し、応えてまいりました。今後も環境に配慮した緑に関する情報を発信し、来て見て体験し楽しく学べる施設として育てていくよう努めてまいりますので、多くの皆様のご利用をお待ちしております。



●●●緑の教室●●●

「緑の教室」は身近な緑に親しんでいただき、緑について関心を深めてゆくとともに、緑を育てる知識を身につけていただくために年間34回開催しております。

内容も季節毎の樹木剪定技法・病虫害防除の方法・家庭におけるガーデニングの基礎等種々多様な内容で展開しております。

受講者は年々増加し、24年度は1,100人を見込んでいます。

この教室で学んだ知識・技術を、生活の中に生かし、緑化思想の高揚に繋がることを期待しています。

●●●親子緑の集い●●●

森からの恵み（森林資源の有効利用）による工作等で、親子にふれあいの場を提供し、緑への親しみを深めてもらうことを目的に、みどりの募金を運営費として3回実施されました。

第1回は「県産材を使った木工工作」、第2回はコブシや木の実を使ってタペストリーを作りました。第3回はもみの木や木の実を使ってクリスマスリースを作りました。

全3回開催で115組313名の親子が参加しました。



●●●子ども樹木博士●●●

近年、地球の温暖化防止、山地災害防止、水源のかん養など森林の役割が見直されている中で、森林の中で樹木に触れて名前を知ることを通じて、子どもたちが森林や自然に関心を深めること、さらには子どもと親とのふれあいの場を提供することを目的とし、県緑化センターと河口湖フィールドセンターを会場として2回実施されました。

親子で樹木の名前や特徴を学び、最後にテストを行い成績により10級から4段までの「樹木博士認定書」が授与されます。

平成24年度は26名の子どもたちが樹木博士となりました。

●●●緑サポーター養成研修●●●

緑化に関心の高い県民を対象に、地域内の緑化の推進、樹木の診断を行なう者を養成するため、緑サポーター養成研修を実施しています。研修修了者には修了証書が授与されるとともに、(財)日本緑化センターに登録すると「緑サポーター」の称号が与えられます。

平成24年度は9名が緑サポーター登録しました。今後の緑普及に関する積極的な活動が期待されます。

●●●緑化相談●●●

県緑化センターでは樹木医が、県民の皆様からの緑に関する相談に対応しています。毎年1,000件を超える相談があり、その50%以上は病虫害に関する内容です。

また公共施設及び神社仏閣に限り、樹木医の出張診断も行なっています。

●(一社)日本造園建設業協会会長賞 (勤続精励表彰)

申松洋一 氏
(株)富士グリーンテック

当協会員申松洋一氏は、平成24年6月26日(火)、グランドアーク半蔵門において開催された平成24年度(一社)日本造園建設業協会通常総会において、協会会長賞(勤続精励表彰)を受けた。

氏は、大学卒業後、富士緑化株式会社に入社し、以来現在(29年間)に至るまで緑化樹木、造園資材の調達及び営業関係に係わる業務に携わり造園技術者として幾多の業績を残している。

特に、昭和61年「かいじ国体」に向け主会場となる「山梨県小瀬スポーツ公園」の緑化樹木の選定、シンボルマーク並びに会場の飾花等に対して心血を注ぐとともに計画から施工まで一貫して手がけた。また、今日までこれらの管理業務に対しても意を注ぎ続け、造園技術者としての手腕を発揮し、多大な功績を上げている。

この他、これまで手がけた主な造園工事を挙げると、公園事業においては山梨県御勅使南公園工事、金川の森公園工事、街路事業においては甲府駅南口平和通り(国・県管理)、アルプス通りの街路樹植栽工事及び管理業務委託等がある。こうした公共事業に加え、民間においては境川ゴルフ場、サンパーク明野ゴルフ場工事等があるが、いずれの工事でも旺盛な探究心と永年培った豊富な知識と経験をもって「地域に即した緑化樹木」、また新樹種(ハナミズキ・ベニカエデ)などを計画提案し、発注者のもとより、同業者からも高い評価と信頼を得ている。

また、氏は(一社)日本造園建設業協会山梨県支部及び(株)山梨県造園建設業協会の若手技術者の先頭に立ちよくまとめ、指導・助言をする中で造園業界の発展のために尽力し、現在活躍中である。

こうした実績とともに造園業界活動に与えた貢献・功績には瞠目するものがあり、正に他の範として表彰するに相応しい者である。



●山梨県環境緑化功労賞

帯金岩夫 氏
(株)帯金造園

平成24年10月20日(土)、小瀬スポーツ公園において平成24年度山梨県林業まつり(山梨県林業まつり実行委員会(会長横内正明)主催)記念式典が開催され、この席上帯金岩夫氏が山梨県環境緑化功労賞を受けた。

氏は高卒後、昭和63年に(株)帯金造園に就職してから一貫して造園業に携わり、多くの実績を残している。平成11年には、その手腕を買われて(株)帯金造園の代表取締役就任に就き現在に至っている。この間氏は、植栽工事等数多くの造園事業を手がけ、その高い技術力と誠意ある施工態度は県民から高い評価を受けている。また、(株)山梨県造園建設業協会・同協同組合等の要職を歴任するなど、人望も厚い。その一方で街路樹剪定士の指導員を努めるなど、造園関係者の技術・技能力の向上にも大いに寄与しており、本県の環境緑化推進に果たした功績は顕著であるとして表彰された。



●(一社)日本造園建設業協会会長賞 (勤続精励表彰)

萱沼昭一 氏
富士急建設(株)

当協会員萱沼昭一氏は、平成24年6月26日(火)、グランドアーク半蔵門において開催された平成24年度(一社)日本造園建設業協会通常総会において、協会会長賞(勤続精励表彰)を受けた。

氏は、昭和56年3月に日本大学農獣医学部林学科を卒業後、富士急建設(株)に就職し、以来31年間の長きに亘って造園業一筋に携わり多大な業績を残した。

平成13年には、同社の造園部課長に、平成18年からは造園部部長に抜擢され、優れた造園技術者としての手腕を発揮している。

氏は研究熱心で、豊かな感性を具備し、これまで国交省発注の緑地管理工事、山梨県発注の道路・公園・諸公共施設の植栽工事を中心に多くの公共事業を手がけている。また、民間においても多くの植栽工事等があるが、いずれの工事でも永年培った豊富な知識と高度の技術力をもって優れた出来映に完成させ、その施工実績は、発注者及び同業者から高い評価を得ている。

また、氏は、平成15年から現在に至るまで(一社)日本造園建設業協会関東甲信総支部の植栽基盤診断士補研修会の講師を務め、若手技術者の指導育成、養成に尽力を傾注し、平成17年からは(株)山梨県造園建設業協会の特別委員会委員、平成21年からは事業委員会委員を務めるなど当業界の発展のために精力的に取り組んでいる。

氏のこのような業績等を通じて業界への貢献度は極めて高いものがあるとともに業界活動などに骨身を惜しまずに取り組む姿勢は、正に他の範となるものであり、こうした貢献・功績が認められたものである。



●建設雇用改善優良事業所 山梨県建設産業団体連合会長表彰

(有)須田造園
代表取締役
須田良英 氏

平成24年度山梨県建設雇用改善推進大会が平成24年11月27日(火)、アピオ甲府本館1階「吉兆の間」で開催され、この席上(有)須田造園は、建設雇用改善優良事業所として山梨県建設産業団体連合会長表彰を受けた。

当該事業所は、雇用改善の重要性を不断に認識し、従業員に対する労働条件の明示や法の遵守、さらに安全衛生管理等々に積極的に取り組んでおり、常用化率も高い。雇用改善に関する講習会、講演会等にもよく出席し、そうした情報はきちんと従業員にも伝えるなど、雇用改善に前向きに取り組んでいる。法定保険制度、退職金共済制度にも加入しており、雇用改善に関して他の模範となる事業所である。こうしたことが認められ表彰された。



表彰等



●造園事業功労者

平成24年5月25日(金)、当協会会議室において開催された平成24年度通常総会の席上、右記4氏が「造園事業功労者」として表彰された。

各氏とも、会員会社の社員として造園事業に携わっているが、その功績が顕著であり他の模範であるとして表彰された。

新居義規氏
山梨ガーデン(株)



小林 誠氏
有東香園



角田浩明氏
有須田造園



古屋和弘氏
有富士グリーンテック



組合

●山梨県中小企業団体中央会表彰 組合功労賞

平成24年5月31日(木)、アピオ甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会平成24年度通常総会において、組合功労者として表彰された。

氏は組合発足以来組合及び青年部で活動し、指定管理者となった県緑化センターの各種イベントの企画に中核的に取り組んできた。さらに「やまなしの名工」表彰の技術により、組合員指導者として若手造園技術者の技術向上に努めている。また、有山梨県造園建設業協会の役員も長年務め、組合員の信望も厚い。これが認められた。

清水文一氏
有清水造園



●山梨県中小企業団体中央会表彰 青年部功労賞

平成24年5月31日(木)、アピオ甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会平成24年度通常総会において、青年部功労者として表彰された。

長年組合青年部活動に積極的に参加し、青年部役員を経て23年度から青年部会員の信望を集め青年部長に就任。甲府駅前で行われるクリーンキャンペーンの意義を会員に伝え参加者の増員を促し、県道街路樹マップの作成や公園リニューアル講習を実施、緑豊かな癒し空間作りに青年部会員が貢献できるよう中心となって活動してきた。これが認められた。

河野嘉孝氏
有河野造園土木(株)



山梨県景観アドバイザー活動報告

美しい県土づくり 推進会議発足をうけて

山梨県造園建設業協会 景観部門研究員 大塚 広夫

平成24年1月30日、山梨県内の行政、NPOや活動団体、事業者団体といった多様な構成メンバーにより美しい県土づくり推進会議が設立されました。設立趣意書には「景観十年、風景百年、風土千年」美しい山々や農村が一体となって織り成す景観は一朝一夕にはならず、行政のみならず、多様な団体や事業者との協働の取組みが重要とあります。参加構成団体数も160あり、多くの県民、団体が今後の山梨県における美しい景観づくりに前向きであると考えられます。造園協会も引き続き「景観と緑の専門家」としての提案、取組みを発信していくことが大切です。

今年で4年目の景観アドバイザーの事業も認知度の高まりもあり、中北建設事務所、峡東建設事務所管内の事業が数件ありました。街路樹の選定や電柱の地中化に伴う街路樹の取り扱い、堰堤前庭の緑化対策、住民説明の街路樹資料などに関するものでした。行政職員の方や市民の皆様も景観や街路樹への関心は高まってきています。実際、「樹木は大切だが維持管理が大変」「季節によっては毛虫が多くて困る」「管理しやすく美しい樹木を植えたいが具体的にはどのような過程で選んでいけばよいか」といった相談もあり、一つ一つの問いに適切に対応していく能力も積んでいかなければならないと感じました。

平成24年12月2日には中央道・笹子トンネルで天井板崩落事故が発生しました。事故にあわれた方々には心からお悔やみを申し上げます。私たちが日常的に利用していた道路での突然の事故に多くの県民が驚いているところです。日頃から安全だと思っていたインフラが老朽化してきており、その維持管理の必要性にも再度注目が集まっています。我々造園業界としても、「安全、安心のまちづくり」をモットーに、造園領域である街路樹の危険箇所、遊具の老朽化、公園における施設の維持管理等に関して再度見直していくことが必要です。「美しい県土づくり」に取り組んでいくなかでもその根底には「安全、安心」をしっかりと確保して実施できる体制も同時に構築していかなければなりません。



※山梨県景観アドバイザー活用事業とは

美しい県土づくりを推進するために県市町村が行う景観形成に関する勉強会や公共事業に対し、景観形成の観点から専門家が助言を行う事業。

担当部署：県土整備部美しい県土づくり推進室

<http://www.pref.yamanashi.jp/kendosui/adobaiza/>

会 員 名 簿

(50音順)

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
(株)アセラ技建	埴原喜久男	甲府市蓬沢町1171	(055) 233-4617 (055) 233-4633	giken@acera-jp.com
(株)石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町269	(055) 241-2001 (055) 241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株)石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島378	(055) 263-2070 (055) 262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(有)今井ガーデン	今井 正行	甲府市里吉一丁目6-24	(055) 237-0027 (055) 226-8788	garden-imai.yugen@abelia.ocn.ne.jp
(株)雲松園	小林 稔蔵	北杜市小淵沢町3630	(0551) 36-2432 (0551) 36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
(株)帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目11-12	(055) 251-4128 (055) 251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
(有)荻野造園	荻野あさ子	甲府市伊勢四丁目1-12	(055) 235-4045 (055) 231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
(株)河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津4940-1	(0555) 72-0635 (0555) 72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	窪田 健司	甲斐市中下条1673	(055) 277-2111 (055) 277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木(株)	河野 嘉孝	甲府市下飯田二丁目5-27	(055) 222-4396 (055) 222-0555	info@kzd.co.jp http://kzd.co.jp
甲南緑化(株)	岩田めぐみ	甲府市高室町721	(055) 241-6136 (055) 241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
(株)三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山1267-6	(0555) 22-1174 (0555) 22-2219	yamau.s-zouen@tbz.t-com.ne.jp
三協造園(株)	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門4796	(055) 272-6000 (055) 272-7777	sankyouzouen@beetle.ocn.ne.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)サンリツ造園土木	土屋 潤一	中央市若宮31-11	(055) 273-8644 (055) 273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有)敷島緑化土木	石水 理恵	甲斐市島上条1664	(055) 277-2530 (055) 277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www15.ocn.ne.jp/~sryokkas/
(有)清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目7-21	(055) 233-9748 (055) 233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
(株)芝 保	藤原 辰男	甲府市貢川本町18-20	(055) 237-7000 (055) 224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://www3.ocn.ne.jp/~shibaho
(有)志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目4-4	(055) 253-6983 (055) 253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有)須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉729	(055) 265-2452 (055) 265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木(株)	今村 尚人	甲府市德行一丁目9-27	(055) 226-4525 (055) 226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://chuouzouen.co.jp
辻緑化土木(株)	辻 宏三	甲府市朝気三丁目3-16	(055) 233-9545 (055) 233-9542	info@tsuji28.net http://www.tsuji28.net
(株)津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町146	(055) 253-2188 (055) 253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
(有)東香園	名取 満	南アルプス市十日市場1828-1	(055) 282-0970 (055) 282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp
(株)仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原3838	(0551) 25-2348 (0551) 25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設(有)	野尻 積道	韮崎市穂坂町宮久保5122-2	(0551) 22-0615 (0551) 22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発(株)	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山8545-4	(055) 273-5753 (055) 273-4919	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設(株)	梶原 実	富士吉田市新西原五丁目2-1	(0555) 22-7151 (0555) 22-7153	fken@fujikyuu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyuu-kensetsu.co.jp
(株)富士グリーンテック	斉藤 陽一	甲府市富竹三丁目1-3	(055) 236-1600 (055) 224-5520	fujit@mxh.mesh.ne.jp http://www.fujigreentech.jp/
(株)明桃園	小林 洋	南アルプス市桃園968	(055) 282-4128 (055) 282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン(株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺1514	(0556) 22-4181 (0556) 22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
(有)山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町3608	(055) 241-2256 (055) 241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有)吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡4044-6	(055) 276-0470 (055) 230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com